

基礎案での記載箇所		章項目	5.7.2	ページ	p.58	行	27行目
事業名	丹生ダム建設事業		河川名	丹生ダム			
府 県	滋賀県	市町村	余呉町		地先	小原	

●現状の課題

- ・琵琶湖における急速な水位低下と低い水位の長期化が生態系に影響を与えている。
- ・高時川・姉川では平常時の流水が欠如し瀬切れの問題が起こっており、河川本来の姿が保たれていない。
- ・高時川・姉川は水を流すことのできる断面積が十分に確保されていない。

●調査検討の方針

- ・琵琶湖における急速な水位低下と低い水位の長期化が生態系に及ぼす影響を軽減するための容量の確保を検討する。
- ・瀬切れを生じさせない河川流量の確保を図る。
- ・滋賀県と調整して高時川・姉川の洪水被害の軽減を図る。

●位置図



●具体的な調査検討内容

- ・代替案に関して、さらに詳細な検討を行う。(丹生ダムからの補給の他、瀬田川洗堰による水位操作の変更及び関係者と連携した水需要の抑制について検討)
- ・琵琶湖の水位低下抑制のための丹生ダムからの補給による効果と、その自然環境に及ぼす影響について、さらに詳細な調査検討を行う。(琵琶湖の水質、生物の生息・生育環境への効果及び影響の調査検討(コイ科魚類の産卵等調査))
- ・貯水池規模の見直し並びに貯水池運用の変更に伴う貯水池周辺やダム下流に与える影響をはじめ、環境等への影響の調査検討を行う。
- ・土砂移動の連続性を確保する方策の検討を行う。
- ・利水について、水需要の精査確認を行う。
- ・滋賀県の整備計画との整合を図る。

●位置図



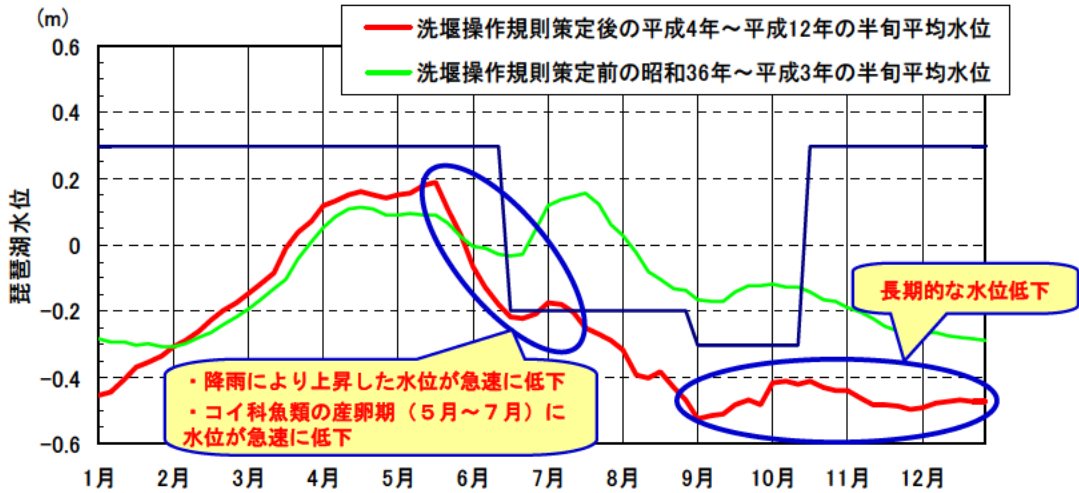
●写真



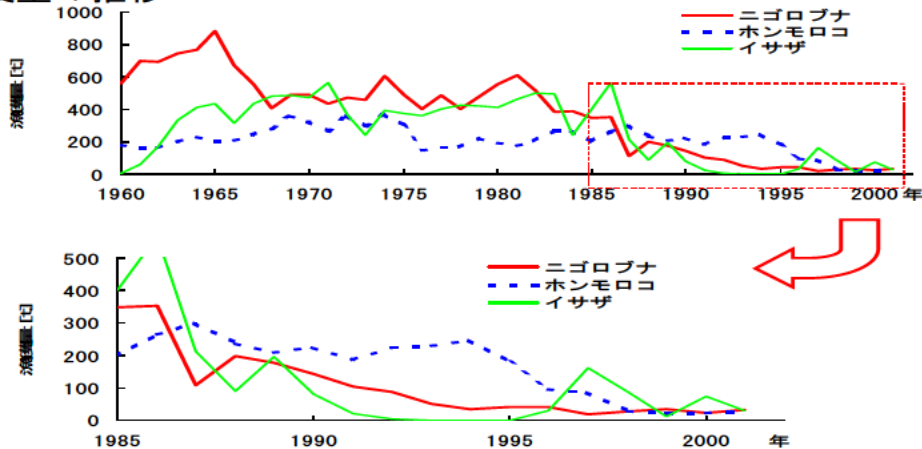
●現状

琵琶湖の現状

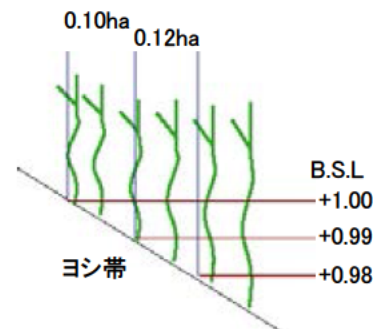
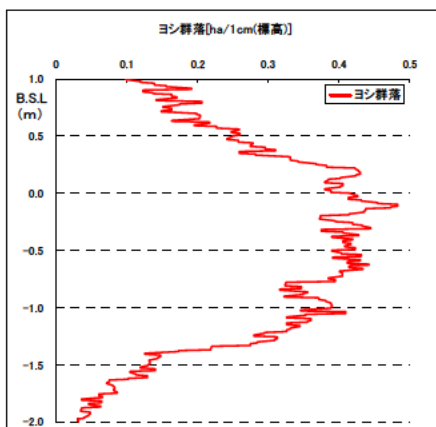
①琵琶湖水位



②漁獲量の推移



③水位低下がヨシ帯に及ぼす影響



滋賀県の実施する方策(内湖・ヨシ帯の保全・復元等)との連携を図る

・急速な水位低下が生ずると卵が水中から水上に干出・乾燥し、卵にとって致命的となる。

・低い水位の長期化により琵琶湖沿岸は干上がってしまい、底生動物は逃げ遅れて死滅してしまう場合がある。

●環境調査実施状況

環境調査実施状況 (昭和57年度～平成15年度)

項目 \ 和暦年度	5	5	5	6	6	6	6	元	2	3	4	5	6	7	8	9	1	1	1	1	1	1	
	7	8	9	0	1	2	3	元	2	3	4	5	6	7	8	9	0	1	2	3	4	5	
西暦年度 (19XX~20XX)	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00	01	02	03	
気象	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
流量	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
水質調査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
動植物調査	植物	○	○	○	○	○	○								○	○	○	○	○	○	○	○	
	動物	○	○	○	○	○	○									○	○		○	○	○	○	
生態系調査	上位性	希少猛禽類													○	○	○	○	○	○	○	○	
		陸域 生息環境															○	○					
	典型性	河川域 生息環境														○	○		○	○			

環境アセスメントの実施「環境影響評価実施要領」(昭和59年閣議決定)に基づく環境影響評価書の公告・縦覧(平成3年2月)

— 出典 — 丹生ダム周辺の自然環境(中間報告書) (H14年度以降追記)

水質シミュレーション結果の例

選択取水設備を活用した従来規模での水質シミュレーション結果(1988年)

